

## 受発注者相互の連携を確認！

「若者に夢と希望が溢れる産業へ」 栃木県建設業協会 青年経営者連合会

### ■青経連と土木事務所次長意見交換



主催者挨拶をする小林青経連会長



挨拶をする大町次長（烏山土木事務所）



熱心に意見を交わす青経連会員と土木事務所次長

令和3年12月9日、栃木県建設業協会青年経営者連合会と栃木県土木事務所次長との意見交換会を宇都宮土木事務所にて開催いたしました。同意見交換会は、毎年定期的に行っているもので、受発注者双方が忌憚のない意見を交わすことのできる貴重な機会となっています。意見交換はテーマごとに、県、業界の参加者が少人数のグループに分かれ、司会者を決め、自己紹介を行った後、意見を交わし、最後に意見の取りまとめを行って発表をする形式となっています。テーマは、建設現場で抱える様々な問題点や今後の建設業界の発展に必要な不可欠な話題などを設定しており、今年度は、①栃木県建設フェスティバルについて②遠隔臨場について③受発注者のコミュニケーションについて④ICT施工の実態について⑤建設キャリアアップシステムについて⑥建設業への求職者の増加と離職者防止方法について⑦フリーテーマの計7テーマを設定しました。最後の全体発表では、テーマ①建設フェスティバルでは、「多くの方にインパクトを与えられる取り組みである」、「県央地区に限らず、県北、県南でも実施すべき」、「受発注者双方でワーキングチームを設けて準備すべき」と双方前向きな意見が寄せられました。その他、テーマ②「遠隔臨場」については、「今後必要な取り組みであるので、勉強会を行っていくこと」。テーマ⑥「建設業への求職者の増加」については、「週休2日制の推進」、「SNSなどを有効活用したICT技術の推進」、「女性の入職促進に向けた環境整備」などが意見として取り上げられました。

また、国が進める「建設キャリアアップシステム」について、「県、業界も勉強不足なところがあり、互いに勉強していく機会を設けてほしい」という意見もありました。

各テーブルとも皆、熱心かつ活発な議論が行われ、様々な意見が提示されました。今後も受発注者双方が互いに協力し合い、難解な課題を乗り越え、業界の発展につなげていくことが確認できたように思われます。

最後に全体の講評を安足土木事務所の細田次長からいただき、「各支部と土木事務所単位での意見交換はもとより、こうした全体での意見交換を今後も続けていきたい」とあり、来年以降もこうした場を設けて、受発注者相互の連携をさらに強めていく次第です。